

こえ
聲

私のいたいこと



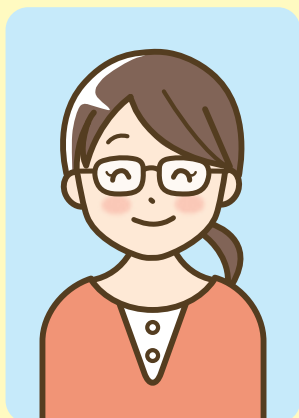
小久保 彩子さん
(稲毛田)

価値ある芳賀町のまつり

芳賀町に移り20年程経ちますが、子育てには恵まれた環境であったと思います。特に近所のお年寄りの方たちが立ち寄り、遊んでくれたことは子どもにとってとても良い経験でした。

数年前、私は稲毛田八雲神社の宮比講社に入れていただきました。昨年からは小中学生も参加して御神楽を習っています。御神楽を学ぶことを通して地域の大人と交流することは子どもたちにとって家庭や学校教育だけでは得られない社会勉強の場になっているのではないのでしょうか。昨今、人と人との関わり方が難しくなっていますが、地域のまつりはそういった問題をおおらかに包み込んでくれる気がします。

芳賀町では各地域で祭祀を大切に守っています。まつりを財産として再認識し大切にすることで町民は郷土を誇りに思い、また町外へ向けては観光の要素となり、町の活性化につながっていくといいなと思います。



佐藤 博子さん
(下高根沢)

もっと住みやすい町に

私は芳賀に来て35年です。今年から両親に代わり自治会に関わるようになり、初めて出席した座談会での役場からのお願いに思った事がありました。

それは資源ゴミの回収量が減っているのは資源化の意識が低下していると考えられるのでご協力をお願いしますと…

私個人の考えですが、生活のあり方が変わってきている現代です。意識が低下しただけでない理由があると思います。

コンテナでゴミを出すのが辛くなってきた人、昼間コンテナ回収できず暗闇で回収が大変だから資源で出すのやめた人などその裏の理由も考えて欲しいです。正直お願いだけで意見を聞いてくれなかったのが残念でした。

町民がもっと協力し易いごみ出し方法を考えて欲しいです！協力し合ってこそ「環の町芳賀」を目指せると思います。

新体制での暮らしやすい町作りに期待します。



杉山 和男さん
(西水沼)

笑顔あふれる町

会社員生活44年、退職して1年半が過ぎました。現在は兼業だった農業を営んでいます。会社員時代は忙しく地域のことは何も見えていませんでした。地域の行事などは家族にまかせっきりで無関心でいました。

ここ数年来、地域行事に参加するようになり人生の大先輩や若い人たちと交流が広がりいろいろな話を聞けるようになりました。

その人たちと会うときには必ずあいさつを交わします。自然と笑顔がこぼれてきます。“笑顔”は無言のコミュニケーション。“笑い”は健康の源でもあります。

理想論かもしれませんが、笑顔と笑顔であいさつできる地域、笑顔があふれる町が次世代へ継いでいけるよう、皆様ご尽力ください。

微力ながらもお手伝いできたらと思います。